

妊婦・子ども、高齢者

インフルエンザ予防接種の費用助成を行います

インフルエンザの発病や重症化を予防し、子育て世帯の経済的負担を軽減することを目的に、昨年同様妊婦と子どもへのインフルエンザ予防接種の助成を行います。任意接種で、希望する人が受けられます。

インフルエンザの流行に備えて、予防接種を受けましょう。

なお、高齢者インフルエンザ予防接種も例年どおり行います。

健康介護課 Tel.22-6839

	妊婦・子どもインフルエンザ予防接種	高齢者インフルエンザ予防接種
接種種類	任意接種 (希望する人が受ける任意の予防接種)	定期接種 (予防接種法に基づく予防接種)
公費助成の期間	平成29年10月15日(日)～平成30年1月31日(水) ※期間を過ぎると全額自己負担になります。	
対象者	市内に住民登録のある人で以下のいずれかにあてはまる人	
	1. 生後6カ月～中学3年生 2. 妊婦	1. 満65歳以上の人 2. 満60歳～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器の病気や免疫力の低下によって、日常生活が極度に制限される程度の障がいがある人※接種時に身体障害者手帳を提示してください。
接種回数	・妊婦 1回 ・満6カ月～13歳未満 2回 ・13歳以上の中学生 1回	1回
自己負担金	1回2,000円を市が負担しますので、残りの金額を医療機関へ支払ってください。	1,500円を医療機関へ支払ってください。
持ち物	・健康保険証や運転免許証など、身分のわかるもの ※予診票は、指定医療機関に置いてあります。 ・母子手帳(妊婦は妊娠の証明のため)	
実施医療機関	・指定医療機関 ※任意接種のため、岐阜県広域化予防接種事業の対象にはなりません。指定医療機関以外で接種する場合は、全額自己負担となります。	・指定医療機関 ・岐阜県広域化予防接種事業協力医療機関 ※指定医療機関以外で接種する場合は、健康介護課へ問い合わせてください。

Q インフルエンザはどんな病気?

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。

38℃以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身の症状が突然現れます。

併せて普通の風邪と同じように、のどの痛みや鼻水、せきなどの症状も見られます。まれに、子どもは急性脳症、高齢者や免疫力の低下している人は肺炎を伴うなど重症になることがあります。

Q 予防接種はどれだけ効果があるの?

現在使用されている予防接種では、感染を完全に阻止することはできません。しかし、発症を予防することや、発症後の重症化を予防することに関しては一定の効果があるとされています。

乳幼児の予防接種については、おおむね20～50%の発症防止効果があったと報告されています。

Q インフルエンザにかからないためには?

次の6つの項目について、心がけましょう。

① 流行前の予防接種

日本ではインフルエンザは例年12

山県市インフルエンザ予防接種指定医療機関

(医療機関名は50音順)

No	医療機関名	所在地	電話番号	実施可能医療機関	
				高齢者	妊婦・子ども
1	あらいクリニック	山県市高富2119-1	23-1188	○	○
2	石田内科	岐阜市福富出口143	(058) 229-5530	○	
3	臼井内科医院	山県市富永414	52-2030	○	○
4	宇野クリニック	山県市伊佐美243	27-2100	○	○
5	遠渡内科	山県市東深瀬683-3	27-2888	○	○
6	大前医院	岐阜市太郎丸新屋敷205-2	(058) 229-3131	○	○
7	加藤医院	岐阜市向加野3-6-20	(058) 243-1114	○	○
8	岐北厚生病院	山県市高富1187-3	22-1811	○	○
9	てらしま整形外科	山県市東深瀬175-1	27-0287	○	○
10	鳥澤医院	山県市大森381	36-2311	○	○
11	鳥沢クリニック	山県市高木1016-1	22-1088	○	○
12	永田医院	岐阜市福富天神前78-1	(058) 229-2101	○	
13	なりみやクリニック	山県市高富1614	22-1213	○	○
14	にのみやクリニック	山県市高富927-1	22-1717	○	○
15	早川胃腸科外科クリニック	山県市岩佐783-1	52-1212	○	○
16	ひらまつ耳鼻咽喉科	山県市高富2452	22-0288	○	○
17	不破クリニック	岐阜市太郎丸北郷243-5	(058) 229-6081	○	○
18	松井医院	岐阜市石原3-116	(058) 229-5655	○	○
19	もりこどもクリニック	山県市東深瀬573-1	23-0321		○
20	やまもと整形外科	山県市高富2092-1	27-0170	○	○

- 月々3月ごろに流行し、1月～2月に流行のピークを迎えます。予防接種による効果が出るまでに2週間程度かかることから、12月中旬までに接種しましょう。
- ② 飛沫感染対策としてのせきエチケット**
インフルエンザの主な感染経路はせきやくしゃみによる飛沫感染です。できるだけ周りに感染させず、自分も感染しないようマスクを着用しましょう。
- ③ 外出後の手洗いなど**
手や体についたインフルエンザウイルスを除去するために、流水と石けんでごまめに手洗いをしましょう。
- ④ 適度な湿度の保持**
空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使い適切な湿度(50～60%)を保ちましょう。
- ⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取**
体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。
- ⑥ 人混みや繁華街への外出を控える**
インフルエンザの流行時期に人混みの中に行くと、感染の可能性が高まります。マスクを着用し、人混みに入る時間を短くしましょう。